

凡例
 ・：意見
 ⇒：回答

第3回 丹波東部(竹田川流域圏)地域 総合治水推進協議会 議 事 要 旨

事項	第3回 丹波東部(竹田川流域圏)地域 総合治水推進協議会	出席者	協議会委員：9名 (縣市関係部局・事務局除く)
日時	平成27年2月24日(火) 14:00~16:30	場所	丹波の森公苑 多目的ルーム
内容	1 開会 2 講演「大雨による災害と防災気象情報」 神戸地方気象台 3 議事 3-1 「丹波東部(竹田川流域圏)地域総合治水推進協議会設置要綱」の変更について 3-2 「丹波東部(竹田川流域圏)地域総合治水推進計画(H26.3)」について 3-2-1 丹波東部地域の取り組み状況 ① 取り組みの紹介 ② 県下における総合治水の取り組み(情報提供) ③ 平成26年8月豪雨災害からの復旧・復興について 3-3 丹波東部(竹田川流域圏)地域総合治水推進協議会の今後の進め方 4 その他 5 閉会		
資料	【配付資料】 議事次第、出席者名簿、配席図 資料-1 丹波東部(竹田川流域圏)地域総合治水推進協議会設置要綱(案) 資料-2 丹波東部地域の取り組み状況 資料-3 県下各地の取り組み(情報提供) 資料-4 平成26年8月豪雨災害からの復旧・復興について 資料-5 丹波東部(竹田川流域圏)地域総合治水推進協議会の今後の進め方(案) 【講演資料】 講演資料-1 大雨による災害と防災気象情報		

1 開会あいさつ

安川所長より開会の挨拶を行った。

2 委員及び出席者紹介

事務局より、委員及び出席者の紹介を行った。

3 講演「大雨による災害と防災気象情報」

神戸地方気象台の村上気象官より、講演「大雨による災害と防災気象情報」を行った。

4 設置要綱変更

事務局より、設置要綱の変更について説明を行った。

<休 憩>

5 資料の説明

事務局より、丹波東部地域の取り組み状況、県下における総合治水の取り組み、平成26年8月豪雨災害からの復旧・復興、について説明を行った。

<質疑及び意見交換>

・総合治水に関して、山と農地について質問がある。

平成 25 年度、26 年度と大きな台風で、丹波地域は大きな被害を受け、特に市島では人命も失われた。自治会として防災上、土砂崩れや土石流が集落で発生した時に、これまで以上に自治会は自治会なりに身障者やお年寄りをどのようにして守るかを考えている。

去年の台風の 1 ヶ月ぐらい後に自治会数名で山を確認した所、多くの切捨間伐の木が残されており、これらの切捨間伐の木が、雨が降った後に下へ落ちていくということがある。県として今後切捨間伐をしない方針は大きな進歩である。一方、間伐に際して整備した林道が洪水時には川のような状況となっており、水路整備も確実に考えていただきたい。

農地に関して、私どもの地域は、農家の高齢化が進んでおり、30%の方が 5 年後には自分で農作業をしないというアンケート結果がある。このように農家が減り、耕作放棄田が増えてくると、耕作放棄田の側を流れている川の土手が崩れても、文句を言う人がいなくなり、川の管理が難しくなるのではないか。(県民委員)

⇒今後、尾根等の搬出が困難な場所を除いて、切捨間伐から搬出間伐が増えていく。また、作業道が洪水の流れで浸食される状況も見られることから、水路等しっかり施工すること等、工法等にも配慮して災害にも壊れにくい作業道となるよう指導したい。今後とも間伐の推進に当たり森林所有者の理解をお願いしたい。(県関係部局)

⇒災害時における災害弱者の避難については、災害弱者避難支援や自治会内での災害時の声かけ等の支援に取り組んでいる。今後は、自力避難困難な方を市で直接搬送したり、どこかの交通事業者に搬送を委託したり、福祉避難所の確保等を考えており、共助と公助で災害弱者に対する支援が整うと考えている。(市関係部局)

・普通河川上流域の放棄田付近の河川の見回り等はしているのか。(会長)

⇒普通河川上流域の放棄田付近の河川は、細かなところまで点検するのは困難である。地元の通報があれば対応しているのが現状である。(市関係部局)

・「治山、砂防等」の復旧復興で、平成28年度までに治山ダム、砂防堰堤等あわせて104箇所の整備を進めているとあるが、現在の整備進捗状況や整備完了の年次はどうなっているのか。

⇒平成28年度末に104箇所の整備完了を想定している。現在、平成27年度中に、全体の6~7割の整備を目指して、治山ダムは丹波農林振興事務所、砂防ダム・急傾斜等は土木事務所が市と連携して事業を進めているところである。(県関係部局)

・平成 25 年 9 月 25 日付で当協議会へ改修要望書を提出した経緯もあるが、船城田んぼの恒常的な冠水を何とか早く解消してほしいということを再度要望する。船城田んぼは、50 年以

上前より冠水が続いており、稲以外の農作物を栽培しても冠水して駄目になる。市や県に何回も要望したが、解消されていない。平成26年8月災害でも改良ではなく原形復旧だけである。遅々として進まないのを何とかしてほしい。今回の災害では、避難場所である船城小学校の運動場が冠水したり、隣接する幼稚園も冠水したりして避難所の役割を果たせておらず、避難所の設置をどうするかということも丹波市に要望書を出している。また、船城地区上流の大崎ではJR石生駅付近で、資材置場や太陽光発電施設設置の開発計画案があり、もし開発されると田が無くなり、より一層水が流れてくる。下流域の河川改修をできるだけ前倒しでやっていただきたい。県が早く黒井川の改修をやっていただければ、恒常的な冠水の解消ができるのではないかとお願いをしたい。

10数年前に改修のお願いをした際、船城地区の田には洪水を溜める機能があるので改修は難しいと言われたことがあり、県では船城地区の田んぼを調整池のように考えているのではないか。平成26年8月災害でも翌日になっても冠水が続いており、水はけがとにかく悪い。
(県民委員)

⇒黒井川のご指摘の区間については、平成25年の第1回協議会でも要望書においてご指摘頂いており、重々承知している。もとより県としても、黒井川の早期改修は急務であると考え、これまで竹田川合流点から、藤林井堰下流までの河川改修は終えているが、そこから船城橋までの区間についても、現在河道拡幅等による流下断面の確保を鋭意図っている。しかし、用地補償の難航、国の予算補助の確保が難しい状況であり、進捗が滞っているため、ご指摘の船城田圃は最上流に位置することもあり、その冠水解消にいたるまでには、まだ時間がかかるものと考えているが、即効性のある治水対策として船城橋下流の堆積土砂を撤去し、川の断面を拡げる対策を今年度の出水期までに実施する計画がある。(県関係部局)

⇒船城小学校は、洪水では浸水するが、地震時には重要な避難所である。今後、災害に応じた避難所の指定を平成27年度中に進めていきたい。(市関係部局)

・平成26年8月の災害について、丹波市市島支所を窓口としたことは良いことだと思う。国・県・市が個々の管轄で手分けし予算を確保して対策を行うと聞いたが、住民にとっては全体像が分かり難い。窓口である市島支所に情報が集まるように、部局間の横の連携を進めてもらいたい。横の連携が進めば、今後の総合治水対策に取り組んでいくのにもいいのではないかと考える。(県民委員)

⇒平成26年8月の災害を受けて、県と市が連携して早く復興していくために丹波土木事務所と丹波農林振興事務所に復興事業課ができた。復興に関しては、定期的に春日庁舎の建設部等、丹波市市島支所と連携を図り、地元調整など情報を共有している。(県関係部局)

・平成26年8月災害で、ハザードマップを整備した効果は見られたのか。(会長)

⇒平成26年8月災害では、自治会においてお互いの声かけによる避難が行われており、ハザードマップ整備の効果はあったと考えている。今後は、地元の詳しい方の意見や県で行われている土砂災害危険区域見直し結果も反映したハザードマップの見直しを行っていきたいと考えている。(市関係部局)

6 資料の説明

事務局より、推進協議会の今後の進め方について説明を行った。

<質疑>

・協議会の設置要綱は、平成 28 年 3 月 31 日で失効となっているが、今後、この協議会はどのようなのか。(県民委員)

⇒設置要綱の設置期限を最大 3 年とするルールがあり、平成 28 年 3 月 31 日で失効となっている。5 年後の中間見直しや 10 年後の見直し等の必要に応じて、設置要綱の更新を考えている。(事務局)

7 閉会

(以 上)

第3回 丹波東部(竹田川流域圏)地域総合治水推進協議会出席者名簿

日時:平成27年2月24日(火) 14:00~16:30
場所:丹波の森公苑 多目的ルーム

【協議会委員】 (順不同・敬称略)				
区分	氏名	所属等	備考	出欠
学識経験者	◎藤田 一郎	神戸大学教授		出席
兵庫県	藤原 一 (代理)安川 徳	丹波県民局長 (丹波県民局丹波土木事務所長)		代理出席
流域圏市	酒井 隆明 (代理)梶村 徳全	篠山市長 (篠山市まちづくり部長)		代理出席
	辻 重五郎 (代理)鬼頭 哲也	丹波市長 (丹波市副市長)		代理出席
県民	山崎 義博	篠山市自治会長会理事		出席
	前川 行雄	丹波市自治会長会理事		出席
	井上 英道	丹波市自治会長会理事		出席
関係団体	西山 昇	丹波市土地改良区協議会 運営委員		出席
	中尾 正文	丹波市森林組合 代表理事組合長		欠席
	藤原 敦實	丹波ひかみ森林組合 代表理事組合長		出席

(◎は会長)

【ワーキング構成員】

区分	氏名	所属等	備考	出欠
兵庫県	足立 寿伸	丹波県民局丹波土木事務所まちづくり参事		出席
	中野 光雄	丹波県民局丹波土木事務所復興事業室長		出席
	横山 一也	丹波県民局丹波土木事務所副所長		欠席
	宮本 健一郎	丹波県民局丹波土木事務所所長補佐(企画調整担当)		出席
	小野山 直樹	丹波県民局丹波農林振興事務所副所長		出席
	中谷 毅	丹波県民局丹波農林振興事務所篠山土地改良事務所所長補佐		出席
	西垣 鉄也	丹波県民局県民交流室室長補佐		出席
流域圏市	近成 和彦	篠山市まちづくり部地域整備課長		出席
	北山 博章	篠山市農都創造部農都整備課長		出席
	西牧 成通	篠山市市民生活部市民安全課長		出席
	荒木 耕作	丹波市建設部管理課長		出席
	畑 幸一	丹波市建設部建設課長		出席
	大石 欣司	丹波市生活環境部防災対策室長		出席
	細見 勝	丹波市産業経済部農林整備課長		出席
県民	山崎 義博	篠山市自治会長会理事	協議会委員兼務	
	前川 行雄	丹波市自治会長会理事	協議会委員兼務	
	井上 英道	丹波市自治会長会理事	協議会委員兼務	

議事録確定署名人

会長:神戸大学教授

藤田 一郎

丹波土木事務所長

安川 徳